

井口地域小中一貫校設置協議会（令和元年度 第1回）

令和元年6月6日(木)午後3時00分

南砺市役所井波庁舎 3階多目的ホール

1. 開会 教育長あいさつ

2. 委員長あいさつ

3. 報告事項

(1) 義務教育学校の基本的な在り方について 資料1

4. 協議事項

(1) 特認校制度について 資料2

(2) (仮称) 井口地域義務教育学校施設の基本計画について 資料3

(3) (仮称) 井口地域義務教育学校の校名、校歌、校章、制服について 資料4

4. 次回協議会の日程

(1) 令和元年度 第2回協議会 月 日 ()

5. 閉会 副委員長あいさつ

1 義務教育学校の基本的な在り方について

(1) 井口地域が目指す子ども像

◎第5回の協議会における教育目標に関する主な意見

- ①「児童生徒」は言葉をくっつけただけに見えるので「子ども」に変えてはどうか。

最 終 案

☆教育目標

「ふるさとを愛し、世界に羽ばたく子どもの育成」

☆目指す子ども像

自主 学び続ける子（知）

- ・自分で考え、相手を意識して表現することで学びを深める子ども

誠実 励まし合う子（徳）

- ・互いのよさを認め合いながら個性を発揮し、伸びゆく子ども

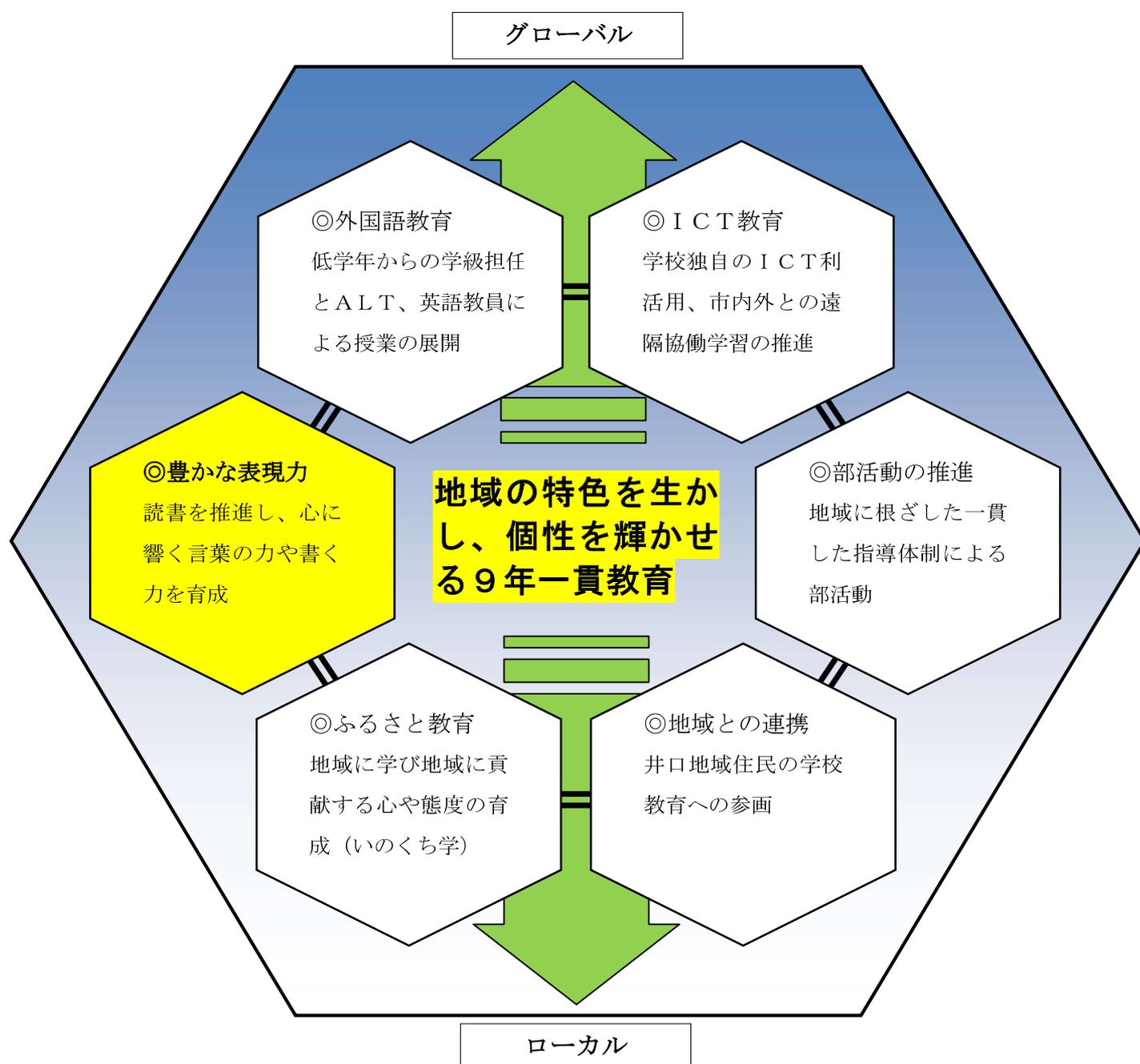
剛健 きたえる子（体）

- ・進んで運動に取り組み、心身ともに健康で、体力の向上を目指す子ども

(2) 井口地域の特色を生かした教育

◎第5回の協議会における地域の特色を生かした教育に関する主な意見

- ①他地域から来ていただけるように真ん中の「井口」はとるのはどうか。
- ②他校との違いを明確にするため、真ん中を「地域の特色を生かした9年一貫教育」とすればどうか。
- ③小規模校の良さを出すため個性を伸ばすことが井口らしいと思う。
- ④「多様性の尊重」は特色を生かした教育とは違い、理念に近いのではないか。
- ⑤「多様性の尊重」の代わりに「表現力」、「作文」、「討論会」など国語教育的なことをいれればいいのか。



1. 特認校制度について

◎第5回協議会における特認校制度に関する主な意見

- ①初年度の募集は全学年で募集すればいいのではないか。
- ②少人数になりすぎて学校の活気が無くなっていくのではないか心配である。
- ③募集人数が井口在住児童の3分の1程度というのは、井口の子どもの少ない場合は教育的にどうなのかと思う。
- ④井口の理念に賛同してもらえらるなら他地域の児童が多くても大丈夫だと思う。
- ⑤「学級編成に影響が見込まれる他地区からの入学・転校は認めない」というのは通用するのか。
- ⑥次に他地区において複式学級になる学校は、特認校制度が導入されるのか。

(1) 特認校の要件等（修正案）

特認校	・(仮称)井口地域義務教育学校を南砺市における特認校に指定する。
対象者	・南砺市に在住する者とする。 ・原則として卒業まで、在籍するものとする。
通学要件	・特認校へ校区外から入学する者の通学方法は、保護者の責任の下に行うものとする。
募集要件	<ul style="list-style-type: none"> ・校区外から特認校へ入学ができる学年については、開校初年度は<u>1年生から9年生までを募集し、2年目以降は各学年の募集定員数に達していない学年のみを募集する。</u> ・募集人数は、<u>各学年の募集定員数までとする。</u> ・募集人数は、(仮称)井口地域義務教育学校の児童数の実態に応じて、毎年度教育委員会が決定する。 ・<u>在籍者の年度途中の転出による年度途中の追加募集は行わない。</u> ・学級編成に影響が見込まれる他校区からの入学・転校は、<u>教育委員会にて可否について協議する。</u>

特認校制度を採用した場合の井口地域義務教育学校の児童生徒(募集)数

○1学年の定員を13人とした場合

年度 学年	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	既在籍人数	募集人数	計	既在籍人数	募集人数	計	既在籍人数	募集人数	計
1年生	10	3	13	9	4	13	6	7	13
2年生	7	6	13	13	0	13	13	0	13
3年生	9	4	13	13	0	13	13	0	13
4年生	9	4	13	13	0	13	13	0	13
5年生	6	7	13	13	0	13	13	0	13
6年生	9	4	13	13	0	13	13	0	13
7年生	12	1	13	13	0	13	13	0	13
8年生	5	8	13	13	0	13	13	0	13
9年生	2	11	13	13	0	13	13	0	13
計	69	48	117	113	0	117	110	7	117
井口地域以外の児童生徒数	3,198	-48	3,150	3,061	-4	3,057	2,963	-7	2,956

※複式学級の採用基準

小学校：隣接する学年が16人未満(1年生のみ8人未満)

中学校：隣接する学年が8人未満

2. (仮称) 井口地域義務教育学校施設の基本計画について

◎第5回協議会における施設基本計画に関する主な意見

- ①安心安全な学校にしてほしい。
- ②管理部門は学校全体が見渡せるように①～④年ブロックと配置を変えた方がいいのではないか。
- ③保育園に子育て支援室のような部屋がないため、改修の際に検討してほしい。
- ④保育園と体育館の渡り廊下の安全に配慮してほしい。
- ⑤平成33年(令和3年)開校となっていますが、ぜひ間に合うようにお願いします。

3. (仮称) 井口地域義務教育学校の校名、校歌、校章、制服について

【決定までの流れ (案)】

1. 井口地域小中一貫教育校設置協議会に部会を置き、調査・協議を行う。
2. 各部会は部会ごとに調査・協議を行った後、協議結果について井口地域小中一貫教育校設置協議会に諮る。
3. 校名については、井口地域に残ることから井口地域小中一貫教育校設置協議会が了承後、井口地域審議会にて審議していただく。

【各部会について (案)】

部 会 名	役 割
総務部会	1 学校の名称等に関する事。 (学校の名称、校歌、校章等) 2 制服、ズック、体操服等に関する事。 3 式典行事に関する事。 4 その他総務部会に属する事項
P T A ・ 同窓部会	1 P T A 及び同窓会の組織運営に関する事。 (組織編成、規約の制定、役員を選出方法、運営計画等) 2 その他 P T A ・ 同窓部会に属する事項
事務部会	1 設備及び備品の廃棄に関する事。 (学校備品、教材備品、学校図書、文章等) 2 移転準備に関する事。 3 その他事務部会に属する事項
教育課程等検討部会	1 教育課程等教育内容の策定に関する事。 2 学校行事に関する事。 3 部活動及びクラブ活動に関する事。 4 生徒指導及び生徒会、児童会に関する事。 5 その他教育課程等検討部会に属する事

【各部会委員について (案)】

部 会 名	委 員
総務部会	小中学校長 中学校同窓会長 小中学校 P T A 正副会長 自治会代表者 地域有識者 行政センター長 教育部長 教育総務課長 小中学校体育主任
P T A ・ 同窓部会	小中学校教頭 小中学校 P T A 代表 中学校同窓会代表
事務部会	小中学校教頭 小中学校事務職員 行政センター職員 教育総務課職員
教育課程等検討部会	小中学校教頭 小中学校教務主任 小中学校生徒指導主事 小中学校 P T A 代表

《参考：平・上平中学校統合時》

南砺市平・上平中学校統合準備委員会を設置し、準備委員会に部会を置き、調査・協議を行った後、準備委員会に諮る。

設置部会：総務部会 通学部会 P T A・同窓会部会 教育課程検討部会 事務部会

○校名の決定について（総務部会）

- ①平・上平地域に居住する中学生以上の市民に校名を募集した。（校名及び理由を記入）
- ②募集結果をもとに部会にて「平中学校」とする。
- ③準備委員会にて了承後、地域審議会に諮り「平中学校」と決定した。

○校歌について（総務部会）

- ①校名決定後に協議に入る。
- ②校歌については、地域特有の名称も入っており、新たに作る。
- ③作詩、作曲は平・上平地域出身の専門家に依頼することとする。
依頼には「郷土の愛と誇りを育むような校歌」の作成を要望する。
（作曲：佐藤 進氏 上平中学校卒業 作詩：山下 謙治氏 上平中学校卒業）
- ④完成後、準備委員会へ提案した。

○校章について（総務部会）

- ①校名決定後に協議に入る。
- ②校章については、新たに作る。
- ③デザインは平・上平地域にゆかりのある専門家に依頼することとする。
デザインコンセプト「緑豊かな自然」「郷土への愛と誇り」「可能性に満ちた未来」
（田中 秀穂氏 武蔵野美術大学 平地域の和紙を通じた交流があり、南砺市の観光大使も努めているため。）
- ④デザイン案をいくつか提案いただき決定した（参考に平・上平中学校にアンケートを取った。）
- ⑤決定結果を準備委員会へ提案した。

校章の使用範囲

（校旗、校章旗、運動服、校舎玄関等、印刷物、その他）

○制服について（事務部会）（平・上平小学校統合時）

- ①両校の保護者へ制服・体操服についての色、形、素材、自由意見のアンケートを行う。
- ②アンケート結果をもとに両校が採用していた取扱業者（2社）、他社（1社）より各社3点見本を取り寄せる。
- ③見本を基に機能性、デザイン、価格を考慮し各社1点に絞り込む。
- ④学校に見本を展示し、保護者へ投票を行ってもらう。
- ⑤投票の結果を準備委員会へ提案した。

総務部会委員（案）

設置協議会役職	氏 名	所 属
委 員	梶 尚美	井口小学校長
委 員	今井 幸代	井口中学校長
委 員	小林 加津實	自治会代表（地域づくり協議会会長）
委 員	中山 秀一	自治会代表
委 員	柳田 由紀	地域有識者
委 員	武部 眞理子	地域有識者
委 員	高畠 真樹	育成会
委 員	林 昭憲	育成会（育成会長）
委 員	荒木 信人	井口行政センター長
事務局	村上 紀道	教育部長
事務局	氏家 智伸	教育総務課長
—	堀 豊次	中学校同窓会長
—	佐々木 暁	井口小学校体育主任
—	藤野 淳子	井口中学校体育主任